

# よりよい集団・コミュニティ・社会のあり方を求めて

## ■研究概要

中学の吹奏楽部。あと一步のところまで全国大会に行けず、行けた団体と行けなかった自分たちとは何が違っていたのだろうかと考えたことが、私が集団に関心を持ったきっかけです。また、大学院でアメリカに留学したことは、日米社会のそれぞれのよさと問題点に気づくきっかけになりました。

どのような集団がよりよい結果を生み出すのか、どうすれば目的に向かって協力を引き出せるのか、よりよい社会にするには、何を変えていくべきか。つらつらと考えたり調査をしていたら、いつの間にか研究者になっていました。

さまざまな集団・コミュニティ・社会の現象について、その中の人々のつながりの束である社会ネットワークのはたらきに注目して、研究を進めています。

## ●Keywords

集団・コミュニティ・社会、社会ネットワーク、信頼、協力、格差、伝統文化の継承

## ■研究テーマ

1. 社会ネットワークと協力行動  
小集団における社会ネットワークにおいて、信頼関係が推移的であるほど、集団内における協力行動が現れやすいことを明らかにしました(文献 A)。この知見をワッツのソーシャルワールド・ネットワークのシミュレーションを応用して拡張し、社会全体における協力が成立する条件を求めました(文献 B)。
2. 地域社会のネットワークと震災からの復旧・復興の成否  
新潟県中越地震(2004年10月)の生じる前と後とで同じ人々を対象としたパネル調査を行い、地域社会のネットワークやコミュニ

社会・マスメディア系専攻  
社会ネットワーク研究室 教授

つじりゅうへい

辻 竜平

r\_tsuji@socio.kindai.ac.jp



最終学位：Ph.D. (Social Science),  
University of California, Irvine

<https://researchmap.jp/rtsuji>

<https://rtsuji.jp/>

- ティのどのような性質が、震災からの復旧・復興の成否に関係しているのかを計量的に検討しました(文献 C, D)。東日本大震災の直後には、その調査結果をもとに、被災住民の人々に向けて提言を行いました(文献 E)。
3. 社会ネットワークが地域や個人の格差の縮小(拡大)にもたらす効果  
「格差社会」と言われて久しいですが、個人間の格差は、個々人に起因するものも、自治体の支援の差から間接的にもたらさせるものもあります。このような格差に対して、社会ネットワークは、それを縮小する効果があるかどうかを総合的に検討しました(文献 F)。

4. 伝統文化の地域コミュニティにおける継承  
長野県諏訪地域で 1200 年以上続いている「御柱祭」が、地域コミュニティの人々によってどのように継承されているのか、また、継承のために、制度や文化がどのように変容しているのかを調査研究しています(研究 G).
5. その他 (文化や世論)
  - ・口承文芸 (「三枚のお札」) のヴァリエントと通婚圏との関係 (文献 H)
  - ・コロナ禍のワクチン接種で、周囲の人々からのプレッシャーが接種を促したか (文献 I) など.

## ●文献等 (上の「研究テーマ」に関するもの)

- A) 辻竜平, 2000, 「集団における信頼関係の構造化と集団内秩序の変化」, 『理論と方法』 15(1): 197-208.
- B) 辻竜平・針原素子, 2003, 「『小さな世界』における信頼関係と社会秩序」, 『理論と方法』 18(1): 15-31.
- C) 辻竜平・針原素子, 2008, 「新潟県中越地震におけるパーソナル・ネットワークと一般的信頼の変化: 震災前後のパネル調査を用いて」, 『社会学研究』 84: 69-102.
- D) 辻竜平, 2018, 「災害からの復旧・復興と地域コミュニティ: 新潟県中越地震の事例から」, 佐藤嘉倫編著, 『ソーシャル・キャピタルと社会』, ミネルヴァ書房, 169-195.
- E) 辻竜平, 2011, 『中越地震被災地研究からの提言: 未来の被災地のために』, ハーベスト社. 全 102 頁.
- F) 辻竜平・佐藤嘉倫編著, 2014, 『ソーシャル・キャピタルと格差社会』, 東京大学出版会. (第 13 回日本 NPO 学会優秀賞)
- G) 科学研究費補助金 (基盤研究 C) 「日本伝統文化の継承者: その社会階級・社会階層と地域社会での社会関係資本に着目して」研究代表者・辻竜平 (2020 年 4 月~2025 年 3 月)
- H) 辻竜平, 2015, 「口承文芸のヴァリエントの類似性と通婚圏との関係: 新潟県旧栃尾市で採取された「三枚のお札」の分析」, 『信州大学人文科学論集』 2: 67-79.
- I) 辻竜平, 2022, 「新型コロナウイルスのワクチン接種におけるピア・プレッシャー」『近畿大学総合社会学部紀要』 11(1): 51-61.

## ◆ゼミの内容

集団 (音楽やスポーツなど) や地域コミュニティで活動した経験のある人が、自分の経験について再考する機会になればと思います。

ゼミでは、理論に基づいて現実の問題を考えることや、適切な比較を行うことなど、卒業後も使える基本的なものごとの見方・考え方の習得を目指します。卒論のテーマ設定は自由です。固定観念にとらわれずフレキシブルに思考し、世界のどこでもたくましく生きていける人を養成したいと思っています。

## ▲趣味

**クラシック音楽**: 吹奏楽をやっていたので、色彩豊かな管弦楽曲が好きでしたが、年を取ったせい  
か、最近では、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲など小編成の室内楽に惹かれます。

**オーディオ**: コロナの巣ごもりがきっかけで、オーディオの沼に踏み込んでしまいました。指揮者になる夢は叶えられそうにないですが、アンプやスピーカー、コード類を組み合わせ、自分好みの音を作っていくのは楽しいものです。

**テレビ・スポーツ観戦**: 自分ではスポーツはほとんどしませんが、チームスポーツを見るのが好きです。特にアメフト好きで、NFL (プロ) はもちろん、カレッジまでカバーしています。

**旅行・温泉・アルコール**: 人生にリラクセーションは、必要です。